

- 2月 は聖具新調で 157,755 円支出。
- e. 布教 (竹内さん):
- ◆ 聖公会クリストファー教会との合同祈祷終了。
  - ◆ 今年も第5地区湘南短期セミナー実施。お手伝い必要。
- f. 要理 (井上さん): 活動状況、など。オリエンス研究所の研修への参加希望があった。(要理研修予算内)
- g. コピー機老朽化: 現状と同構成で、後継機種に変更。

## 委員会後記 委員長 下村 毅

### (1) 復活祭前の大掃除についてのお願い

毎年、復活祭・降誕祭の前の土曜日に大掃除を実施しており、大勢の皆様にご協力いただいております。しかし、「埃が多い教会」であることから、高い場所の清掃に苦慮しています。昨年も60歳代の方が脚立に乗り聖堂照明等を清掃しました。危険を感じ「(専門家に)外注しよう」との意見も出ていますが、今年は高所用の掃除用具を購入する予定です。日程的には「土曜日10時集合」としていただきますので、若い方で「協力したいが時間が合わない」と言われる方が居られると思います。(教会委員に)連絡いただければ、「時間の変更」または「二度に分けて」掃除も検討したいと思っています。

### (2) 教会案内係について

現在東原さんをお願いしておりますが(委員会)、復活祭には大勢の方がミサに預かり、また初めての方も来られますので、案内役を増やしては」との意見がありました。復活祭当日は、委員会も(名札を付ける予定です)努力いたします。聖木曜から聖土曜日の夜間、ご協力いただける方は、委員にご連絡ください。

### (3) 教会の変化と委員の仕事

従来の中和田教会委員の活動は、主任司祭が常駐されており、教会行事は司祭の指導を受けると共にヨゼフ会・マリア会の協力を得て、仕事を全うすることができました。しかし、現在の中和田教会は無人教会であるため主日の朝は、郵便物の処理(急いで信徒の皆様にお伝えする事項・他教会に連絡すること・教区への報告等委員間で協議が必要なことがあります。)、行事がある時は、行事グループのお手伝いが必要です。そんな状況から、各委員は「(主日は)早めに教会に来て、相談や準備を手伝う」ことができるよう、話し合っています。信徒の皆様も、日曜日は、少し余裕を持って教会にお越しいただき、ご協力いただければ幸いです。

## ヨゼフ会だより

< 3月19日(日)13名出席 >

### ■連絡／報告事項

山崎神父様の帰天:の報告から「より良い追悼文を作る」方向に話が進んだ。

- ◆ 神父様とは長い付き合いであるが、文章にしようとすると「何を書いたら良いか迷ってしまう」「どうも、叱られたり、怒られたりした、思い出が多いから」(会場は和む)
- ◆ 追悼文の寄稿状況にもよるが、追悼文集に皆が参加できるような座談会を開いて、思い出を語り合ってはどうか。

等の意見があったことを広報グループに話し任せる。

### ■議論:

### ✧ ヨゼフ会のあり方

- ◆ 先月の「カトリックとして何をを目指すのか」には、具体的な展開が必要であり、例えばヨゼフ会で黙想会を行ってはどうか。
- ◆ しかし、気楽に話し合いができる雰囲気も良いのではないかな。

### ✧ 神父様と信徒の関わり

- ◆ 典礼も昔と変わり、祈りを含めて「信仰とは何か」を、神父様と話し合いたい。(ヨゼフ会懇親会等を通して)
- ◆ 最近の研修会では、信仰の目的は奉仕であり、最終目的は社会に役立つ奉仕・福祉であると指導されている。
- ◆ 信徒は自分の悩みを解決するため、いろいろ相談したい。特に一番相談したいことは、「心の悩み」(本人・家族に病気等)なのではないか、横浜と言う都会であることも関連するのか、話すタイミングが取り難い。
- ◆ 共同回心式:従来の告解室で行う告解は重厚感もあり良かった。現在は一部対面方式となっている。それもそれなりの良さはあるが、馴染まない向きもあり。

### ✧ サロンについて

- ◆ サロンの準備・サービス・後片付けはヨゼフ会だけでなく、全員に呼びかけようという意見はあるが。
- ◆ 「信徒の皆様が奉仕ができる場」を先輩が作ってくれたものであり、今後も継続したい。皆で「サロン担当」に協力しよう。

### ■その他:

- ✧ 典礼グループからのお願い: 典礼当番表の書き込みが少ない、協力を願いたい
- ✧ 行事グループが四グループに形成され、各行事の準備を行うので、ヨゼフ会員も協力ください。
- ✧ ハイキング: 5月13日(土)または5月20日(土)に城ヶ島で計画します。(昨年計画したが参加者なし)
- ✧ 藤沢教会の皆様からコーヒーの寄贈して頂いた。有難うございました。
- ✧ 慶弔祝金 小野幹事長女「結婚祝い」



## 行事グループだより

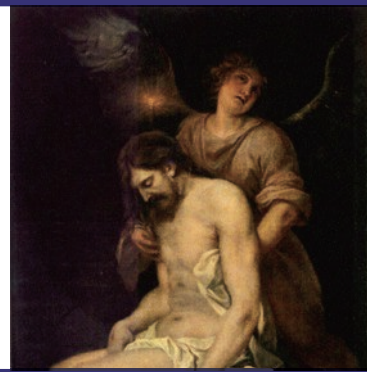
- \* 1月15日に集まりをもち、年間行事のうち大きい行事である復活祭、敬老会、バザー、降誕祭の4グループにメンバーを分け、各グループに代表者を決めました。
- \* 2月19日(日)初めての代表者会をし、各グループの名称を聖人の名からつけてつけました。
- ◆ なお、グループは一年毎に担当の行事を交代し、4年で一回りとなります。さらに、途中で行われる行事についても分担をきめました。
- \* バザー担当グループ(グループ・アンナ)よりのお知らせ
  - ①バザーのための作品作りを月1回、第一月曜日の10時から行います。
  - ②作品作りのための布や毛糸などがありましたらお寄せください。
  - ③バザーに向けて、新品不用品、中古衣料などの他、調味料などの提供をお願いします。(集会室にダンボールを置きますので、それに入れてください)
  - ④自主作品を各自2点以上出してください。
 以上、よろしくお願いいたします。



## 広報 なかわだ 第322号

### 4月の予定

|             |             |
|-------------|-------------|
| 枝の主日(受難の主日) | 4月9日        |
| 聖木、金、土曜日    | 4月13,14,15日 |
| 復活の主日       | 4月16日       |
| 委員会         | 4月9日        |
| ヨゼフ会        | 4月23日       |



2006年 4月号

中和田カトリック教会  
広報委員会発行

泉区中田北1丁目9-1

Tel. (045) 803-6141

<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

平成18年4月2日



## 二人三脚

ぱうろ たかのてつお



運動会で、二人三脚をしたことはありますか?相手の片足と自分の片足を紐で結び、ゴールに向かって走るものです。最近では、30人位の小学生の子供達で行う全国大会を行っているようで、テレビで見たことがあります。

番組の中でいくつかの小学校が取り上げられます。ムードメーカーで、チームを引っ張るリーダー役の子供。みんなよりも足が遅く、チームの足を引っ張ってしまうので、母親と一緒にトレーニングに励む子供。熱血先生。子供達を支える保護者の人々、等々……。どれをとっても、私たちの心を惹きつけるには欠かせない要素です。また、番組の中では取り上げられない沢山の失敗も間違いなくあったはず。一流選手を集めた、または集まってきたチームのような粒揃いではなく、不揃いならば、チームを一つにまとめ、なおかつ強いチームに仕上げることは並大抵のことではないでしょう。

しかし、その苦労は誰が味わっているのでしょうか?・・・指導者でしょうか・・・保護者でしょうか・・・それとも・・・

弟子達を選び、不揃いの弟子達を選び、共に歩まれた主イエス様……。福音書を読むと、主イエス様が弟子達にどれほど苦労されていたのか感じ取ることができます。でも、弟子達も主イエス様に必死について行こうと、時には背伸びをしながらついて行こうとしていたのではないのでしょうか。そして、その弟子達の必死の苦労を、主イエス様はしっかりと受け止めていたはずなのです。だからこそ最後の晩餐の席で、今までの旅の埃を落とすかのように、自分について来てくれた労をねぎらうかのように、自ら弟子達の足を洗った様にも見えるのです。

二人三脚のように、お互いが結ばれて共に歩んでいる「わたしたち」です。歩調が合わず、紐に引っ張られて、その痛みを他人にぶつけてしまう「わたしたち」です。それでも、主イエス様について行きたいと、留まりたいと苦労している「わたしたち」です。その「わたしたち」をすべて受け止めて、主イエス様は自らを死に渡されるのです。「わたしたち」のうちに主の栄光が輝き出るために。心を合わせて参りましょう。



## お知らせ

### ※ ミサ等予定

4月8日(土)13:30~16:00 黙想会・共同回心式  
4月13日 聖木曜日(主の晩餐)19:00~(今年から)  
4月14日 聖金曜日(主の受難)19:00~  
4月15日 大掃除(10時集合)  
4月15日 聖土曜日(復活徹夜祭)19:00~(金井さん洗礼式)  
4月16日 復活の主日 10:00~ 終了後パーティー

### ※ 渡邊神父様の「聖書の分かち合い」(毎週水曜日)

以下の日はおやすみになります  
4月: 12日、19日 5月: 3日、10日

※ 帰天 ペトロ 山崎正俊神父様 3月7日

※ 原稿募集 皆様の心に残る山崎神父様との思い出を、文章にしてみませんか。追悼文を募集いたします。内容は、どんなことでも結構です。

- (1) 文字数は自由です。短くても結構です。
- (2) 締切り: 4月24日(復活節第二主日)
- (3) 写真も御願います。(後でお返しします)

※ 帰天 3月26日、小さき花のテレビア 竹田 恭様



## 2005 年・第 14 回湘南短期キリスト教セミナー報告

布教部 竹内 廣治

本年度セミナー実行委員長・田坂氏（鍛冶ヶ谷教会）の「第 14 回湘南短期キリスト教セミナーを終えて」と題した挨拶の一部と、講演者と内容の説明を転載しますので、企画から終了までの一連の流れと、実務に携わられた方々のご苦勞をお察し頂ければ有り難いことと思います。

### 田坂会長挨拶より：

「今回のセミナーが恵み豊かであったことを神様に感謝いたします。素晴らしい感動をくださった講師の方々、神父様方、各教会実行委員の方々のご尽力に対し心からお礼を申し上げます。今回のセミナーは天候に恵まれ、大変幅広い層の方に大勢ご来場いただき、好評のうちに終了することができましたことを喜んでおります。

テーマを“心の壁を越えて”「小さな人々と生きる世界」として開催しました今回のセミナーは、聖書の言葉・マタイ 25 章 40 節「この最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである」を中心に、三人の講師にお話をお願いし、それぞれ心に残るお話が伺えました」。

- ・日時：2005 年 11 月 12 日（土）、11 月 19 日（土）、11 月 26 日（土）14 時～16 時
- ・会場：カトリック鍛冶ヶ谷教会
- ・参加費：1000 円（全 3 回参加できます。希望により当日券も手配）

### 〔第 1 回〕千葉茂樹先生（映画監督）「マザー・テレサに学ぶ」―生きることは分かち合うこと

互いに愛し合うことは先ず家庭から始まるとし、家庭を愛の苗床として子供に愛を与え、マザー・テレサが言われる喜びの 3 段階「与えられる喜び」「出来るようになる喜び」「与える喜び」に従い、子供たちにこの三つの喜びを感じさせるように心掛ければ、成長したのちに、きっと小さな人々に自分のものを与えて分かち合える精神の人になれると思うと述べられました。

### 〔第 2 回〕日浦美智江先生（社会福祉法人「訪問の家」理事長）「みんな一緒に」

「訪問の家」の実践を通して、重度身体障害者が施設に通うメンバーと共に生きてきた、家族の悲痛なまでの実態と、やがて社会的なハンディを背負った子供たちから命の大切さを教えられ、短くも濃密な時と人生を見出した家族の喜びをお話しになりました。感動的な言葉が頭に残り、胸に響いてきました。「命は身体に宿る、命は同じ、宿った身体がみんなと違ったのです」。

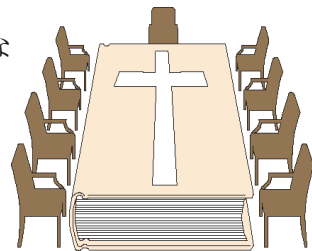
### 〔第 3 回〕佐藤仁彦先生（ラルシュ共同体「かなの家」代表）

知的障害者と共に生活するラルシュ共同体のなかで学び悩んだあれこれを丁寧にお話しになり、「ふれあいを生きる」決心をされたジャン・バニエとの出会いから、「かなの家」をラルシュコミュニティにしていた経験を通して、「社会からも家庭からも見捨てられ、誰からも顧みられない人たちを、なぜ神様は放っておかれるのか」という当たり前のような疑問は、彼らと生活を共にしているうちに、いつの間にか氷解していったそうです。それは、この人たちの中にキリストを感じたからです。彼らと接することにより、自らが救われたことを感謝、感謝と結ばれました。

- ◆ 今回の 3 回にわたるセミナーを通して、私たちが感じ、かつ学んだことを振り返ってみると、それは、実行委員長・田坂氏が集約した一文にあるとおり、私たちに愛する者になるよう促すために神様によつて送られてきたこの小さな人たちは、キリストの姿と同じであり、この人たちが苦しむ姿は、あたかも私たちが十字架にかけたキリストの姿そのものであると思いました。3 回にわたって生きた言葉を聞きました。神様はこのセミナーを通して多くの恵みをこの地域に注いでくださったことでしょう。
- ◆ 遠方の方々の参加もありました。特に第五地区の教会以外からの参加がアンケートからわかりました。
- ◆ 地域の方々や、車椅子の障害者の方、付き添いのご家族方の参加と感想の発表もありました。
- ◆ 近隣のプロテスタント教会から、牧師さんと 20 人の青年たちの参加があったことは、大変嬉しく思いました。いまキリスト教一致祈祷週間に一緒にできないか折衝中です。
- ◆ 教会の若い人たちに会場準備を依頼したり、いろいろな人たちにもお手伝いを頼むなどして、教会挙げての取り組みとなり、信徒の意識改革の一つになったと思います。

### 〈第 14 回湘南短期キリスト教セミナー事務総括〉

- ・参加者数・・・第 1 回 185 名、第 2 回 95 名、第 3 回 155 名 計 435 名
- ・参加者カード販売・・・全回通し券 196 枚、当日券合計 98 枚（売上金 245,000 円）
- ・中和田教会参加者カード販売・・・10 枚（売上金 10,000 円）



【後 記】 セミナー開催日、私のお役目は会場への道案内。好天に恵まれたとはいえ、季節は晩秋。じっとしていると足下から冷え込みます。けれど、会場へ急ぐ人たちの中に知っている顔を見出すと、やっぱり嬉しいものですよ。本当にご協力頂きまして有り難うございました。



## 上杉昌弘神父様、ありがとうございました！

中和田教会がたいへんお世話になった札幌司教区 上杉昌弘神父様が、赴任先の東京大神学院から札幌に帰任されることとなり、3 月 5 日に中和田教会に来て下さいました。

当日は主日ミサを高野神父様と共に捧げて頂き、終了後は集会室にて信徒一同と、懐かしい話に花を咲かせて楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

また、交歓会が終ってからも、隣接する畑で上杉神父様と子どもたちが一緒にジャガイモを植えたり、非常に思いで深い一日となりました。

上杉神父様、

長い間たいへんお世話になり、本当にありがとうございました。

中和田教会信徒一同、心から感謝しております。

いつもでもお元気でご活躍されますように。



### 委員会だより

＜3 月 12 日（日）11 名出席＞

#### ■ 挨拶：

山崎神父様のご葬儀、皆様のご協力・ご参列を頂きありがとうございました。（下村さん）

#### ■ 連絡事項

(1) 行事報告：略

(2) 行事計画：

- 4 月 8 日（土）13:30～16:00 黙想会・共同回心式 鈴木神父様
- 4 月 9 日 受難の主日（枝の主日）鈴木神父様
- 4 月 13 日 聖木曜日（主の晩餐）19:00 ～（今年から）渡邊神父様
- 4 月 14 日 聖金曜日（主の受難）19:00 ～渡邊神父様
- 4 月 15 日 大掃除（10 時集合）注：高所用掃除用具を準備。
- 4 月 15 日 聖土曜日（復活徹夜祭）19:00 ～（金井さん洗礼式あり）渡邊神父様
- 4 月第 1 週の典礼委員会で侍者等詳細打合せ予定。

#### ■ 審議事項

(1) 運営規定の変更

- ✦ 委員の決定手順：
  - ◆ 信徒の中から立候補者を募り、立候補者が定員に満たない場合は委員会が推薦。
  - ◆ 上記から主任司祭が委員を選任・承認し、新委員は大会で委嘱される。
- ✦ 大会運営：
  - ◆ 承認の場ではなく、信徒に説明して意見を求める場であることを確認。

(2) 復活パーティ

- ✦ 聖堂で開催する。
- ✦ 予算 5 万円で実施（行事、山本さん）。全体スケッチをま

ず検討。飲み物はビール/ジュース等（お酒は持ち寄り基本）。

- ✦ 立ち上がり易い椅子を用意。
- ✦ 初めて来られた方へのご案内 ⇒ 名札をつけて全委員でお迎えする体制。（福島さん）
- (3) 2006 年度共同宣教司牧研修の募集
  - ✦ 管理・運営奉仕者養成コース：福島さん（委員会より推薦）
  - ✦ 信徒・修道者・司祭の三者合同宿泊研修会：井上さん（委員会より推薦）
  - ✦ 入門講座指導者養成コース：阿部映子さん（公募）
  - ✦ 聖書の分かち合いリーダー養成コース：公募

(4) 中和田教会の堅信式

- ✦ 来年度は司教様に来て頂き堅信式を行う。（第 1 希望は 6 月、第 2 希望は 9 月）。
- ✦ 今年堅信の美底さんは藤沢教会で受けて頂く。

(5) 第 5 地区福音宣教委員会

今年度より各教会は主任司祭と委員長が宣教委員となり、1 月 22 日第一回目の報告。検討キーワードの考え方を委員に相談した。（別紙資料配布；下村さん）

#### ■ 各グループ/委員報告等

- a. 行事（山本さん）：上杉神父様歓送：50 人規模の方々が集まり、盛会裏に終了。信徒各位のご協力を頂いた。
- b. アンナ会（バザー責任；楠田さん）：3/19 打合せ 教会委員会からも参画する予定。
- c. 広報（岩淵さん）：「広報なかわだ」で山崎神父様の追悼特集を計画している。過去の写真等含めご協力願いたい。
- d. 財務（甲斐さん）：山崎神父様のお花料（3 万円）と、